

【専門教育科目/看護の展開/看護の統合と発展】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
医療安全論		NSP44_005	選択	1	4	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪		407	m.kobayashi	授業終了時、水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要		安全な医療を提供するための組織としての取り組みや看護における安全対策についての知識と技術を習得する。医療機関における安全対策、院内感染予防対策、安全文化についての基礎的知識、医療安全に関する用語、ヒューマンエラーの種類と不安全行動の防止対策、さらには具体的なエラーの防止対策を理解する。また、医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☒ プレゼンテーション ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		近年の看護師国家試験で設問が増えている医療・福祉の場での安全の問題を意識的に取り上げる。各自でも新聞やテレビ等の医療事故等の報道について意識的になることを望む。				
教科書		ナースング・グラフィカ看護の統合と実践(2) 医療安全第4版/監修：松下由美子他/メディカ出版/2021				
参考書		授業の中で提示する。				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護の法的規定と医療安全について説明できる				NS(1)(2)	
②	事故発生のメカニズムと事故予防、事故発生後の対応について説明できる				NS(1)(2)(3)	
③	看護における医療事故と安全対策について説明できる				NS(1)(2)	
④	医療安全施策と医療安全管理者の役割を理解できる				NS(1)(2)(4)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	看護の法的規定と医療安全について学ぶ		講義	事後課題①：「安全とはなにか」についてレポートする。		2
2	「安全とは何か」について 事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ①		講義 グループワーク プレゼンテーション	事前課題：テキスト p74～87 を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。		4
3	事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ②		講義	事前課題：テキスト p88～94、 p106～109 を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。		4
4	看護における医療事故と安全対策についておよび、看護学生の実習と安全について学ぶ		講義	事前課題：テキスト p126～174 を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。事後課題②：看護学生の実習と安全についてレポートする。		4
5	医療事故への対応について学ぶ（DVD 視聴） （事故防止/再発防止/事故発生時の対応）		講義	事前課題：p59～71 を読み、授業中の DVD が理解できるようにする。		4
6	安全文化とはなにか 医療事故防止の方法を学ぶ（KYT・5S）		講義 グループワーク プレゼンテーション	事後課題③：提示した事例について、各自で KYT を行う。		4
7	医療安全施策と施設での医療安全管理体制および医療安全管理者の役割について学ぶ		講義 ディスカッション	事前課題：テキスト p34～58 を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。		4
8	医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについて考える。		講義 グループワーク プレゼンテーション	事後課題④：医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについてレポートする。		4
試	達成度評価・評価のポイント参照					

【専門教育科目/看護の展開/看護の統合と発展】

達成度評価								
総合評価割合（％）			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			50	50	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力		30	20	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力		10	20	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力		10	10	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	医療安全の基本的な知識について、授業終了後の試験により 50%評価する。				試験終了後に振り返りを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを 50%評価する。 (事後課題①②③各 10%、事後課題④20%)				授業内で共有する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教 員 の 実 務 経 験		看護師として 23 年の臨床経験を有し、厚生労働省で第 5 次医療法改正による医療安全対策の法制化に関わっていた。						
実践的授業の内容		実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書を補強しながら学習する。						
そ の 他		・ 試験時の教科書持ち込みは不可です。 ・ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業に参加できません。 ・ 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるので、その際は随時、お知らせいたします。						